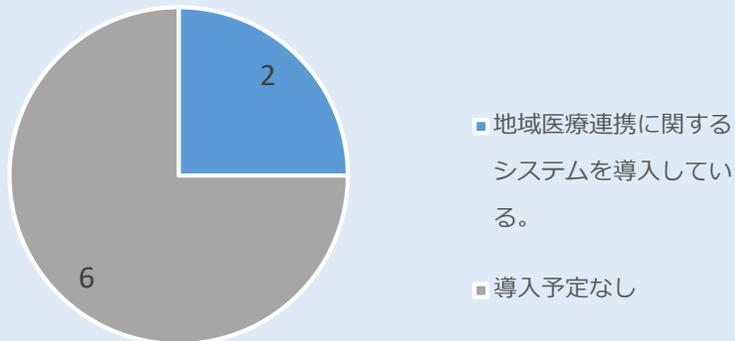


地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの主な意見（北多摩西部）

地域医療連携システムの導入状況

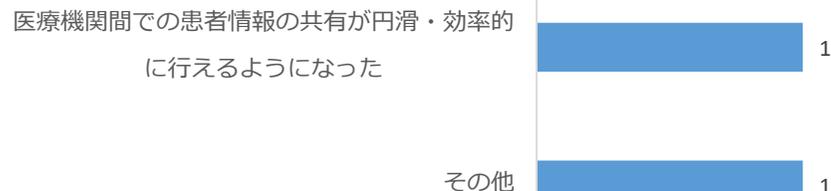


病院としての主な機能別の導入状況

病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	0	0
急性期/サブアキュート	3	1
回復期/ポストアキュート	1	1
慢性期	2	0
ケアミックス（急性期・回復期）	0	0
ケアミックス（回復期・慢性期）	0	0
その他	2	0
計	8	2

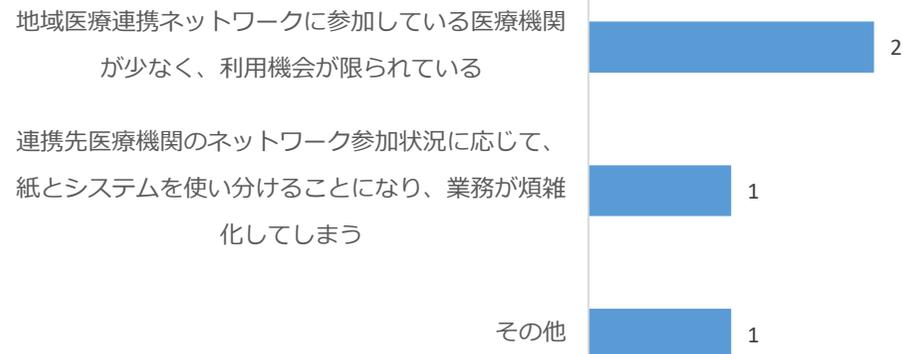
■ 導入済みの病院の回答

システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



その他
・連携医療機関（複数）と接続しているが実績なし

導入や運用面での課題（複数回答可）



その他
・地域への配信をしているが、地域からの依頼がない。患者・家族の同意取得に係る業務負担が大きいと推測される

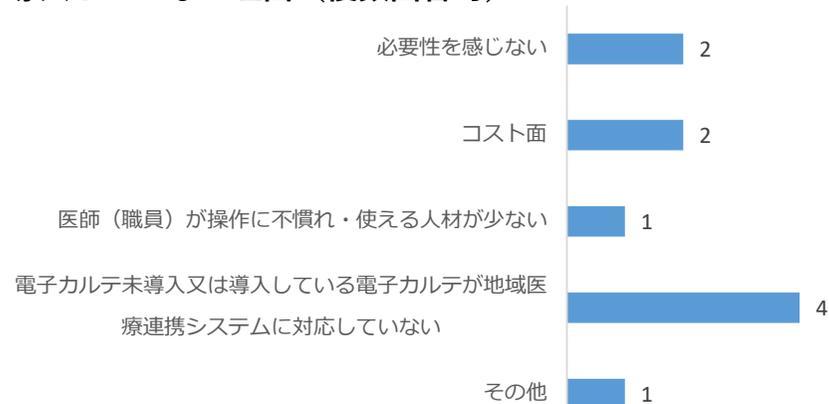
事前アンケートの主な意見（北多摩西部）

■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

医療連携の際にどのような手段を用いているか

- ・診療情報提供書のFAX送付、メール、郵送
- ・電話
- ・わんコネというシステムを使用し、入院依頼への対応をしている

導入していない理由（複数回答可）



その他

- ・セキュリティなど安全性の担保

どのような点が改善されれば導入するか

- ・まずは電子カルテ導入を検討している。
- ・ICT活用を進める必要があると思うが、病病連携の入院調整としてのソフトウェア業者が複数あり、自治体や医師会などどこかがイニシアチブを取って共通化しないと効率的にはならないと感じる。また導入コスト、セキュリティ課題など導入に障害となる要因もある。
- ・電子カルテの導入と同時にシステムを構築。
- ・電子カルテシステムの導入及び地域医療連携システムの導入に係る予算が割り当てられれば可能。
- ・近隣の医療機関が導入してから検討する。
- ・個人情報、サイバーセキュリティ対策など

■ DXを活用した地域医療連携の理想的な姿

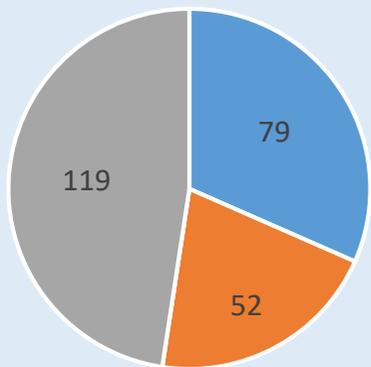
- ・病院機能に関わらず地域全体のシームレスな入院調整ができること
- ・セキュリティ対策が万全の状況でのカルテの共有等の情報の共有化。
- ・シンプルで簡単なシステム
- ・二次医療圏の患者情報が病院・クリニックでカルテ内情報が共有できるようになれば、よりスムーズな連携が図れる。現在、当院で導入しているシステムだと検査データやほかの診療情報など、まだ構築に向けて検討中のため、結局、情報を得るためには、電話連絡などが必要になっている。より完成度の高い医療連携システムの構築が求められ、かつネットワークに参加しているプロバイダーの標準化が必要と考える

■ 地域医療構想に関する意見

- ・医療DXを活用するのであれば、全病院統一したやり方で、FAXのやり取りを廃止するくらい徹底されればいいと思う

事前アンケートの主な意見（都全域）

地域医療連携システムの導入状況



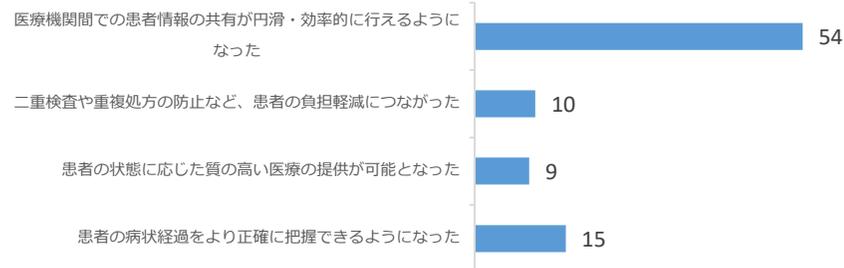
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

病院としての主な機能別の導入状況

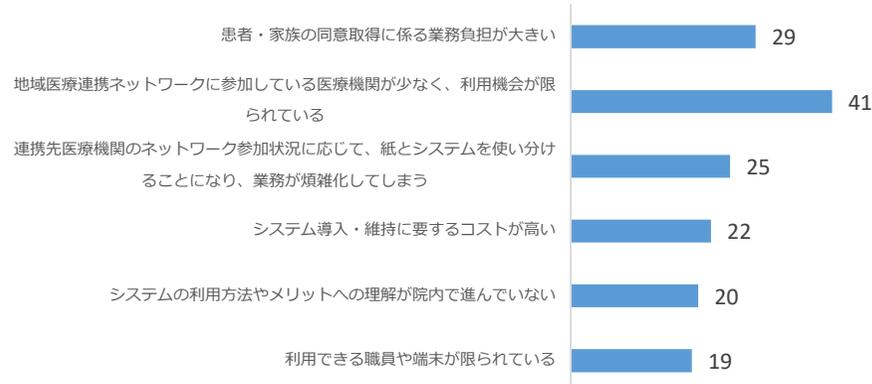
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	36	18
急性期/サブアキュート	79	27
回復期/ポストアキュート	15	4
慢性期	34	6
ケアミックス（急性期・回復期）	33	13
ケアミックス（回復期・慢性期）	18	6
その他	35	5
計	250	79

■ 導入済みの病院の回答

システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



導入や運用面での課題（複数回答可）



■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

導入していない理由（複数回答可）

